

令和7年10月21日(火)



学校ファームの野菜は、ほぼ無農薬で育てているため、虫との闘いです。地域の方が、こまめに虫を取り除いてくれますが、追いつかない状況です。虫たちは、葉が柔らかいうちにどんどん食べていくので、サニーレタスはほぼ食べられてしまいました。ブロッコリーも、遠くから見ると大きく葉を広げていますが、近くで見ると穴だらけ。花芽が出てこないのが心配です。元気なのは、ダイコンとカブ。ダイコンは、私の手首くらいの太さになっています。11月1日の50周年記念式典までに、どれくらい大きく育つでしょうか。



生徒朝会は、合唱祭に向けた内容でした。各クラスの実行委員が登壇し、クラスのスローガンや歌う楽曲の紹介を行いました。また、校歌の合唱曲バージョンも練習しました。時間の都合上、1回しか歌うことができませんでした。



まだまだ声が出そうなので、クラスの合唱曲と併せて校歌もしっかり歌えるようがんばっていきたいところです。今年の合唱祭の全体スローガンは、「繋ぐ Belle chanson(ベル シャンソン) ～私たちの歌声で次の50年へと～」です。Belle chansonとは、フランス語で「美しい歌」という意味です。本番までは、あと3日ですが、これからもうひと伸び、いや、もうふた伸びくらいできそうです。苦勞してつくりあげた合唱は、必ずベル シャンソンとなって、私たちの心を震わせてくれることでしょう。

理科で生物の体のつくりを働きを学習している2年生。本時は、骨格と筋肉の関係について、簡単な模型を作って構造を学んでいました。骨に見立てた細長い板目紙をハトメで連結します。ハトメは関節を表します。関節をつなぐ筋肉として、今回はゴム製のおもちゃを利用しました。チューブ状になっているこのおもちゃの本来の遊び方は、手の中で縮めてからパッと離して遠くへ飛ばすというもの。縮めた時にチューブの中央部分が膨らむので、筋肉の収縮に形状が似ています。このチューブをクリップで板目紙の両側に固定したら、腕関節の出来上がりです。関節を曲げると、内側の筋肉が縮み、外側の筋肉が伸びます。おもちゃのゴムチューブが、筋肉のモデルになるなんて、おもちゃを考案した会社は考えてもいなかったことでしょう。理科の先生の発想力に脱帽です。

